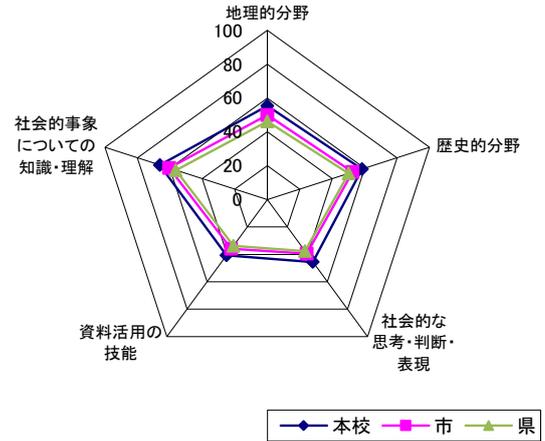


# 宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理的分野	55.4	50.0	46.2
	歴史的分野	58.4	52.6	50.2
	社会的な思考・判断・表現	45.6	39.4	37.6
	資料活用の技能	40.7	35.9	33.8
	社会的な事象についての知識・理解	66.2	60.4	56.3



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>○県、市、いずれの数値と比較しても平均正答率は上回っている。特に、「世界の諸地域(オセアニア)」では、県の平均正答率と比較して13.1ポイントも上回っている。</p> <p>●全体としては県の平均を上回っているが、「世界の諸地域(アジア)」の項目の正答率は、45.7%とやや低い傾向であった。</p>	<p>・世界各地の人々の生活と環境の領域は、写真・VTRなどの資料を扱うこともあり、興味を持ちながら学習を進めている生徒が多い。しかし、資料をもとにして考える項目になると、正答率が下がる傾向がある。資料活用の力、さらに資料をもとにして判断する力をつけるため、資料を多面的に考えさせたり、判断させたりする機会を増やしていく。</p>
歴史的分野	<p>○県、市、いずれの数値と比較しても平均正答率は上回っている。特に、「飛鳥時代～平安時代」では、県の平均正答率と比較して13.3ポイントも上回っている。</p> <p>●全体としては県の平均を上回っているが、「縄文時代～古墳時代」の項目の正答率は、43.5%とやや低い傾向であった。</p>	<p>・出土品の分布図を利用から縄文時代について考察する問題の正答率が低かった。今後は地図・グラフ・分布図などの資料をもとにして考える機会を増やしていく。また、古代の重要事項の復習をして、重要人物や出来事について再確認させる。</p>